

滋賀医大ニュースレター

Catch Up 滋賀医大

2012.10.05 第20号



「滋賀県医師キャリアサポートセンター」開設に伴い、オープニングセレモニーを開催

H24.08.31

嘉田滋賀県知事と
馬場学長との握手嘉田滋賀県知事と
馬場学長による看板設置

9月1日「滋賀県医師キャリアサポートセンター」の開設に伴い、8月31日に附属病院第3会議室でオープニングセレモニーを開催しました。

セレモニーには、滋賀県から嘉田知事、苗村健康福祉部理事、滋賀医科大学から馬場学長、柏木附属病院長などが出席し、知事・学長から謝辞とともに滋賀県における医療の状況や同センター設置までの経緯などが述べられました。また、柏木病院長及びセンター長に就任予定の苗村理事からは詳細な運営方針が述べられ、最後に報道機関からの質疑に応じました。

「滋賀県医師キャリアサポートセンター」は、国庫補助事業の「地域医療支援センター運営事業」を活用し、滋賀県が設置するもので、滋賀県から事

業の委託を受けた滋賀医科大学に活動拠点を置き、苗村センター長のもと、本学の太田茂病院教授が専任となり中心的に任務にあたります。

同センターは、滋賀県内病院の医師充足状況を把握・分析したうえで、主に若手医師の県内基幹病院循環型研修を軸とした「医師キャリア形成支援プログラム」を構築するほか、若手医師と女性医師のための「総合相談窓口」を設けて就業相談や専門医資格の取得相談等に応じます。特に女性医師の臨床現場復帰支援には、スキルスラボを利用した就業前の医師技能トレーニングなども想定しています。

これらの事業を実施することで県内における医師の診療活動システムを整備し、医師の流動性を促進することにより、滋賀県内における病院診療機能の向上を目指します。

県庁において「癒着防止剤の開発」の記者発表を行いました

H24.09.10

9月10日、外科学講座と川澄化学工業株式会社との間で共同開発を進めていた癒着防止材の記者発表を滋賀県庁において行いました。

記者発表には、本学から高尾理事、谷教授、清水講師(学内)、神谷非常勤講師が、また、川澄化学工業株式会社からは、沼田上席執行役員、向井研究開発部シニアリーダーが出席し、谷教授から発表が行われました。

開発した癒着防止剤は、従来のものに比べて

- 1)臓器に貼付する際、取り扱い性に優れ破れにくい
- 2)貼り直しが可能であり、確実に目的部位に貼付できる
- 3)しなやかで耐水性があり鏡視下手術でも使用できる

といった点が優れ、本年7月から臨床評価(治験)を開始しています。



記者発表の様様

光泉高等学校との高大連携事業を実施

H24.07.09

光泉高校では、2年生のこの時期に自身の進路選択の参考とするため、希望分野の大学への訪問研修を実施しており、その一環として25名の生徒が同校の麻田先生引率の下、7月9日に本学を訪問しました。

光泉高校との高大連携事業は初めてということもあり、最初に服部副学長から「進路の決定に当たっては是非本学を選択してください。」と歓迎と応援の挨拶がありました。

引き続き、臨床看護学講座(小児看護学)桑田教授から、赤ちゃんの出生状況から家庭内で子供を取り巻く危険物などについて、「子ども医療に対する話題」と題し講義がありました。

さらに、実習室に場所を移し、臨床

看護学講座(成人看護学)盛永講師の指導により、血糖値測定の検査を体験しました。

この後学内見学となり、実験実習支援センターでは、磯野准教授の指導の下「走査型電子顕微鏡」を使って標本を観察し、顕微鏡に映し出された不思議の世界に見入っていました。また、附属図書館では、普段の図書館とは異なる“医学図書館”をめずらしそうに見学していました。

最後に生協食堂でメニューの中から自身の好みで料理を選択し昼食を摂りましたが、みんな「安くておいしい」と口々に話しながら、一時の“大学生活”を体験しました。



「走査型電子顕微鏡」で
標本を観察

彦根東高校を訪問

H24.07.18



松浦教授による説明の様子

7月18日(水)に、滋賀県立彦根東高校を訪問し、医学科または看護学科志望の生徒51名を対象に、本学の概要及びカリキュラムや特色等について、医学科は松浦教授(生理学講座)から、看護学科は桑田教授(臨床看護学講座)から、それぞれ分かりやすくお話いただきました。

また、学生課入試室からは、入学

者選抜に係る説明を行いました。

本学では、入試に係る広報活動の一環として、高校訪問による大学・入試説明会を、県内外の高校及び医・看護両学科の先生方の協力を得て実施してきており、平成24年度は滋賀県内14校と京都市内5校、計19の高校を7月から9月にかけて訪問することにしています。

東大津高校との高大連携講座を開講

H24.07.18-19



渡邊教授の講義

東大津高校とは、昨年度から本学看護学科において高大連携講座を開講していますが、この度、将来看護系大学への進学を希望している1・2年生の生徒(1日目:1年生25名、2年生19名、2日目:1年生29名、2年生21名)が同校澤教頭先生の引率のもと、本学を訪問しました。

初日は、服部副学長から「近隣の高校でもあり、是非本学への進学を目指してください。」との挨拶がありました。

続いて、今回初めての取り組みとして、同校の先輩である看護学科第2学年 中村 太志君に、「先輩からの一言」と題し大学生活について話してもらいました。

引き続き、臨床看護学講座(精神看護学)瀧川教授から、「ストレスと心身の健康」と題し、ストレスの受け止め方や対処方法等について講義がありました。講義終了後には熱心な生徒の方からいくつかの質問も寄せられ、盛況のうちに終了しました。

また、2日目には、臨床看護学講座(母性看護学・助産学)渡邊教授から、「看護と研究」と題し、看護(卒業)研究の意義、研究の進め方、まとめ方などについて講義がありました。講義終了後、先生から、昨年、東大津高校の生徒の皆さんにご協力いただいた「インターネットと健康に関する調査」についての結果報告がありました。

平成24年度 第1回しが医工連携ものづくりネットワーク会議を7月19日(木) コラボしが 21で開催

H24.07.19

主催:公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、滋賀県

後援:滋賀医療機器工業会、滋賀医科大学、立命館大学、長浜バイオ大学、滋賀バイオ産業推進機構

滋賀県では、医療分野への進出に意欲的で多様な分野の企業で構成する「しが医工連携ものづくりネットワーク」を組織し、その事業化に向けた取り組みを進めています。

その一環として、医工連携による地域産業の活性化を図ることを目的に、産と産、産と学・官などの双方向の情報交流とビジネスマッチングの場を提

供し、「しが医工連携ものづくりクラスター」の形成を目指して「しが医工連携ものづくりネットワーク会議」が開催されました。

本学からは、精神医学講座の今井眞講師が、「産学連携によるわさび火災報知器の開発 ―イグ・ノーベル賞受賞にいたるまで―」について、発表を行い、発表後、わさび臭スプレー缶を会場内で噴霧し、参加者にわさび臭刺激を体験してもらいました。

100名以上の参加者が、講演者の発表内容を熱心に聞き入りました。



わさび臭スプレー缶の噴射による体験

『全国国公立・有名私大相談会2012 in 大阪』に出席

H24.07.21



会場の様子

本学では入試にかかる広報活動の一環として、7月21日(土)に大阪市の大阪国際会議場で開催された『全国国公立・有名私大相談会2012 in 大阪』に出席し、本学志望の学生や保護者など約30名から入試やカリキュラム、学生生活等にかかる個別相談を受けました。

なお、今後、以下の3カ所で開催さ

れる、学外での入試・進学説明会に出席の予定をしています。

- ・ 9月22日(土)
進学 EXPO2012(大阪市)
- ・ 10月28日(日)
全国国公立大学 医学部医学科説明会(大阪市)
- ・ 11月23日(金・祝)
医進フェスタ2012(大阪市)

東北大学(中国)の学生が本学を訪問

H24.07.23

本学と東北大学(中国)は2009年より国際交流協定を締結し交流を図ってきましたが、この度、7月23日(月)に、東北大学からの学生7名が、日中文化交流センターの職員、長浜バイオ大学の担当者と留学生に引率され、本学を訪問しました。

当日は、馬場学長、服部副学長との懇談の後、副学長から本学の概要説明を受けました。

その後、マルチメディアセンター、実験実習支援センター、MR 医学総合研究センター、動物生命科学研究センター、附属病院を見学し、学生たちは学内施設や研究内容に興味津々な様子で、先生方の説明に熱心に耳を傾けていました。

最後に附属病院6階の「湖の見えるレストラン」で、本学オリジナルの「パウンドケーキ」に舌鼓を打ちながら、琵琶湖や大津市内の景色を展望していました。



懇談の様子

平成24年度滋賀医科大学奨学金授与式

H24.07.25



奨学生を囲んで



授与式の様子

本学では、毎年度、学部学生の各学科・各学年の前年度成績優秀者1名(2年生以上)に対し、月額5万円の奨学金を1年間支給しています。

7月25日に、平成24年度滋賀医科大学奨学金授与式を、クリエイティブモチベーションセンターCMCホールにおいて行いました。今年度の奨学生は以下のとおりです。

授与式は、本学理事、監事をはじめ、医学科長、看護学科長、各学年担当教員等ご臨席のもと、まず馬場学長から奨学生一人ひとりに奨学生採用通知書が手渡されました。

その後、馬場学長から「当奨学金は企業、個人からのご寄付を財源(わ

かあゆ夢基金等)として実施している。若い皆さんが立派な医療人となることへの社会の期待に応えるよう、今後とも頑張っていたきたい。」との激励のお言葉をいただきました。

《平成24年度

滋賀医科大学奨学金奨学生》

医学科 第2学年 金尾 亮

医学科 第3学年 沖 達也

医学科 第4学年 田村 亮太

医学科 第5学年 合田 敏章

医学科 第6学年 竹内 誠人

看護学科 第2学年 鷺田 奈緒

看護学科 第3学年 緒方 梨乃

看護学科 第4学年 安永 瞳

「医学科オープンキャンパス」を開催

H24.07.26

7月26日(木)に、「医学科オープンキャンパス」を開催しました。当日は県内外から高校生、保護者等合わせて過去最多となる503名の方にご参加いただきました。

学長の挨拶に続き、大学の概要を映像で紹介、入試情報やカリキュラムの説明を行いました。その後、生理学講座・等教授による「脳のしくみを理解するー神経生理学からー」と、皮膚科学講座・田中教授による「闘う皮膚 支援する医師」と題した二つの模擬講義により、大学での授業を短時間ながら

実際に体験していただきました。

希望者を対象に実施の学内施設見学には、定員の100名を大幅に上回る方に応募をいただき、抽選で選ばれた方が、実験実習センターやMR医学総合研究センターなど5カ所の学内施設を見学されました。

また、個別相談コーナーにも多くの方にご参加いただき、在学生や入試担当へ熱心に質問等をしていただきました。



会場の様子

滋賀医科大学「係長(専門職員)研修『アクティブモチベーション研修』を実施

H24.07.31



グループワークの様子

7月31日、管理棟大会議室において、「係長(専門職員)研修『アクティブモチベーション研修』」を実施しました。

本研修は、本学の大学マネジメントの重要な担い手としての資質の向上を図る機会として全係長(専門職員)を対象に実施するもので、今回はその1回目として半数の係長(専門職員)が出席し、総務等担当理事の挨拶に始まり外部講師による講義と個人ワーク・グループワークが行われま

した。

6班に分かれたグループワークでは受講者同士の活発な意見が飛び交い、「異なる部署の人とお互いの情報を共有できて良かった。」「係長職としての自覚と役割の重要性を再認識することができ、モチベーションの維持・向上につながるものだった。」など多くの方から「役立つ」という感想が聞かれました。

次回は8月30日に実施予定となっています。

滋賀医科大学わかあゆ夢基金 ご寄附者銘板を設置

H24.08.01



設置した銘板

平成24年8月1日(水)に本学構内管理棟1階(正面を入り右側)に滋賀医科大学わかあゆ夢基金 ご寄附者銘板を設置しました。

銘板は、滋賀医科大学わかあゆ夢基金へご寄附をいただいた方のご芳名を掲載し、末永く謝意の表明をするために作成いたしました。

この銘板のご芳名掲載の基準につ

きましては、1年度あたりの寄附金額の合計額が、法人等にあつては50万円以上、個人にあつては10万円以上のご寄附を頂いた方で、公表することをご了承いただいた方を掲載いたしました。

今後、この基準に該当することとなった個人又は法人・団体等を毎年追加掲載していく予定です。

「看護学科オープンキャンパス」を開催

H24.08.01

8月1日(水)に「看護学科オープンキャンパス」を開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて、過去最多であった昨年を更に上回る326名の方にご参加いただきました。

午前中は、学長の挨拶に続き、大学の概要を映像で紹介、入試情報やカリキュラムの説明を行った後、看護学科・基礎看護学講座の足立みゆき教授による「『人』として育てる大学教育」

と題した模擬講義を行いました。

午後からは4つのグループに分かれて、看護学科棟の3階と4階にある実習室を見学実習(体験を含む)として回り、例年同様、大好評でした。また、見学実習の時間中、瀧川看護学科長の進行により「教員と保護者との懇談会」も実施しました。

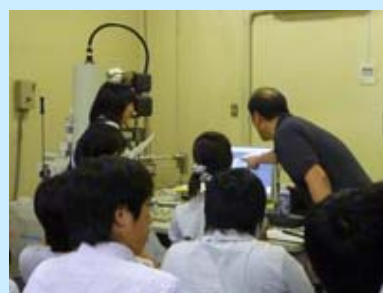
教員や在学生が対応した個別相談コーナーにも多くの方にご参加いただきました。



見学実習の様子

彦根東高校との高大連携講座を開講

H24.08.02

実験実習支援センター
見学の様子

8月2日、彦根東高校第1・2学年の生徒38名(男子18名・女子20名)が、同校教諭2名の引率の下、本学を訪問しました。

服部副学長からは「彦根東高校とは長い付き合い。是非本学への進学を目指してください。」と激励の挨拶がありました。

続いて、同校の先輩である医学科2年生 山本 陽平君に、「先輩からの一言」と題し大学生活について話してもらいました。「高校2年生時の1日の勉強時間は？」などの質問があがりました。

引き続き、解剖学講座(生体機能形

態学部門)宇田川教授の「ヒトの体のつくりと疾病」と題した模擬授業が行われました。実際のエックス線画像を見ての読影問題もあり、みんな真剣な表情で取り組んでいました。

その後、2班に分かれて実験実習支援センターと附属図書館の見学へ向かいました。実験実習支援センターでは実際に走査型電子顕微鏡の使い方体験。5万倍以上の高倍率の髪の毛や気管支の画像に、驚きの声があがっていました。

最後は生協食堂で昼食をとり、半日と短い時間でしたが、大学生活を体験してもらう貴重な機会となりました。

立命館守山高校夏休み1日実習と病院見学を実施

H24.08.03

立命館守山高校との高大連携事業では、連続講義の「医療基礎セミナー」の他に、例年夏休みに1日実習を実施しています。今年も8月3日(金)に15名の生徒が参加し、実習と病院見学を行いました。

授業の開始に先立ち、服部副学長からの挨拶の後、同校の先輩である医学科第3学年の中西 真由子さんに、受験勉強の方法や入学後の学生生活について話してもらいました。生徒からは、医学部を選択した理由や受験対策について質問がありました。

1日実習では、午前中に病理学講座伊藤准教授から「インフルエンザ」について、午後からは杉原教授から「がんからみた医学」と題し授業がありました。それぞれの講義の後には、顕微

鏡実習室でスライドを使いインフルエンザウイルスや、がんの組織について勉強しました。

引き続き、太田医師臨床教育センター長、小野副看護部長の引率で2班に分かれて病院見学に向かいました。

村田放射線部長からCT装置や画像について、前川リハビリテーション部技師長からリハビリテーション部での活動について、小林医療サービス課長から病院の診療内容等について説明を受けました。

その他、5A病棟では、壁に描かれた「瀬田の森」を見学し、スキルズラボでは臨床実習に使用する人形のシミュレーターや高価な装置に感嘆するなど、それぞれの訪問先で興味津々な表情で見学していました。



5 A病棟見学の様子

CT装置や画像について
説明を受ける学生

滋賀医科大学学外有識者会議を開催

H24.08.07



会議の様子

8月7日(火)、滋賀医科大学学外有識者会議を開催し、7名の委員にご出席いただきました。

会議に先立ち、去る7月24日にご逝去された本会議顧問の岡本道雄先生に哀悼の意を表し、黙祷をささげました。

会議では、馬場学長挨拶の後、議長として井村 裕夫委員(先端医療振興財団理事長)が選出されました。井村議長の進行のもと、学長から大学改革実行プランについての説明後、引き続き、本学運営上の諸課題等について、服部理事から教育・研究面、柏木理事から診療面、高尾理事から財務状況、谷川理事から男女共同参

画推進及び給与減額の説明を行いました。

各委員からは、日本の高等教育の現状、大学の人材育成の使命、大学院での専門職教育、診療に関する県内ネットワークの重要性、県内医師キャリアアッププログラムの構築、病診連携の課題、潜在看護師の復職支援、男女共同参画の推進、医療職雇用の質確保等、様々なご意見・提言をいただき、活発な会議となりました。

最後に、谷川理事から、本日もご教示いただいたことへのお礼と、本学にとって正念場となる大学改革について、今後ともご指導及び助言をいただきたいとの挨拶がありました。

役員と報道機関との懇談会が行われました

H24.08.08

滋賀県内に支局等を置く報道機関のうち7社から出席いただき、本学役員との懇談会を開催しました。

懇談会では、馬場学長から大学改革実行プランについて説明があり、引き続き、各役員から本学の活動実績と諸課題等として、教育・研究、附属病院、大学評価指標、男女共同参画推進および給与減額について説明を行いました。

報道機関側からは、大学の統合、高大連携、海外の医師免許取得者の受入、脳卒中ネットワーク、メディカルツーリズム、原発事故発生時における医療体制等に関する質問がありました。

懇談会終了後は、昼食を取りながら情報交換を行い、その後、病院長の案内により、附属病院の放射線部、院内図書室、手術部、ICU・CCU、NICU および6階レストランを見学していただきました。



懇談会の様子

滋賀医科大学わかあゆ夢基金 ご寄附者銘板を附属病院に設置

H24.08.10



設置した銘板

平成24年8月10日(金)に本学附属病院玄関ロビーに滋賀医科大学わかあゆ夢基金 ご寄附者銘板を設置しました。

銘板は、滋賀医科大学わかあゆ夢基金へご寄附をいただいた方のご芳名を掲載し、末永く謝意の表明をするために作成いたしました。

この銘板のご芳名掲載の基準に

つきましては、1年度あたりの寄附金額の合計額が、法人等にあつては50万円以上、個人にあつては10万円以上のご寄附を頂いた方で、公表することをご了承いただいた方を掲載いたしました。

今後、この基準に該当することとなった個人又は法人・団体等を毎年追加掲載していく予定です。

福島県知事より感謝状が贈られました

H24.08.13

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から早1年半近くなります。

本学では、発生翌日に派遣したDMATチームを皮切りに、これまでに24チーム、68名の医師、看護師、薬剤師、コメディカル及び事務職員が被災地で医療支援活動等を行い、現在も継続しています。

福島県では大震災とともに原子力災害の被災があり、本学からは医療支援のほか放射線測定支援、健康管理支援として12チーム、38名の医師や放射線技師等の職員が福島県内で支援活動を行いました。

この度、この活動に対して福島県知事より感謝状が贈られました。



感謝状

夏休み中の高大連携事業等を集中的に実施

(1) 虎姫高校 SSH サマーセミナー

H24.08.21-22



顕微鏡実習室の様子



生物学実習室での実験

去る8月21日(火)、22日(水)の両日に亘って県立虎姫高校の SSH サマーセミナー(滋賀医科大学連携講座)が実施されました。

当日は、2年生の医学コース希望者12名と、看護学コースの希望者26名が、西嶋校長先生他2名の教諭に引率され本学を訪問しました。

最初に西嶋校長先生から、本学の協力に対する謝辞を含め挨拶がありました。続いて、同校の先輩である医学科第2学年の小川 智恵美さんから、自身の受験対策や学生生活について話してもらいました。

初日は、全体講義として看護学科長の瀧川 薫先生から「ストレスと心身の健康」と題し、また、病理学講座(疾患制御病理学)准教授の伊藤 靖先生から「インフルエンザ」と題し授業がありました。

午後からは病理学講座(分子診断病理学)教授の杉原洋行先生から「がんからみた医学」と題し講義室での授業があり、加えて顕微鏡実習室でがん

の組織をバーチャルスライドで見学しました。

2日目は医学コースと看護学コースに分かれ、それぞれ受講しました。

医学コースでは、生化学・分子生物学講座(分子生理化学)の堀池 喜八郎 教授、石田 哲夫 准教授、田中裕之 講師(学内)他所属教員のご協力により、生物学実習室において「ニトリ肝臓の乳酸脱水素酵素の働きを測る」と題した実験に挑戦し、同酵素の働きについて勉強しました。

一方、看護学コースでは、基礎看護学講座(形態・生理)教授の森川 茂廣先生から「コンピュータを活用した形態学」、臨床看護学講座(老年)教授の畑野 相子先生から「人間の成熟と衰退における看護の役割」、また、公衆衛生看護学講座(公衆衛生)の川畑 摩紀枝先生から「経済格差と健康」と題しそれぞれ授業がありました。森川先生の授業では、人体の構造を3D画像で見て本物のような立体画像に驚いていました。

夏休み中の高大連携事業等を集中的に実施

(2) 膳所高校スーパーサイエンスハイスクール コアSSH事業

H24.08.23

平成24年度のスーパーサイエンスハイスクール コアSSH事業が、8月23日(木)に実施され、県内の高校生30名(膳所15名・虎姫3名・守山4名・石山4名・安曇川4名)と、各校の教諭13名が本校を訪問しました。

開講にあたり、膳所高校の湊田 豊朗 学校長より、「最前線で研究している教授から講義を受けられるのは幸せなこと。どんどん吸収して今後に活かしてほしい。」との挨拶がありました。

続いて「インフルエンザウイルスとヒトとの関係」と題し、病理学講座(疾患制御病理学)小笠原 一誠 教授から講義がありました。講義後は生徒から

専門的な質問が多く寄せられ、小笠原先生の丁寧な解説を受け更に理解を深めていました。

その後、2班に分かれて実験実習支援センター・附属図書館を見学した後、生協食堂で昼食を摂りました。

午後からは、「腸管神経系の観察」と題し、解剖学講座(神経形態学)相見良成 准教授の講義と実習が行われました。ユーモアを交えた講義と、メダカの腸管を染色し顕微鏡で観察する解剖実習に、みんな興味深く取り組んでいました。

最後は、参加した生徒や先生方と一緒に中庭で記念撮影をしました。各高校の枠を超え、大学生活を体験してもらう貴重な機会となりました。



実験実習支援センターの様子



中庭での記念撮影

夏休み中の高大連携事業等を集中的に実施 (3)膳所高校基礎医学講座「夏休み1日実習」

H24.08.24



生物学実習室での実験



記念撮影

膳所高校では、医学系進学希望者の2年生を対象に本年度8回の「基礎医学講座」を実施していますが、その一環として、これに加えて「夏休み1日実習」を8月24日(金)に実施しました。

特に今回は、実験をスムーズに進めるため常時受講中の44名の学生を15名に絞って実施することになり、7人の教諭とともに本学を訪問しました。

実習に先立ち、同校の吉川教頭先生から挨拶があり、続いて、同校の先輩である医学科第2学年の高木 春花さんから、自身の受験対策や学生生活について話してもらいました。生徒からは「効率的な復習の方法」、「大学でのクラブ活動」等について質問が

ありました。

引き続き、生化学・分子生物学講座(分子生理化学)の堀池 喜八郎 教授から、実験の前段階として、「生きるためには食べなければならない」と題した授業があり、その後、堀池先生、石田 哲夫 准教授、田中 裕之 講師(学内)他所属教員のご協力により、生物学実習室において「ニワトリ肝臓の乳酸脱水素酵素の働きを測る」と題した実験がありました。

生徒たちは白衣に着替え、指導教員の指示を仰ぎながら、エッペンドルフチューブや固定ピペットなどの実験器具を用いて慎重に実験を行い、乳酸脱水素酵素の働きについて勉強していました。

附属病院内の理髪店・花屋が新装開店

H24.08.27

病院サービス部門のうち、改修を行ってありました理髪店・花屋の工事が終了し、平成24年8月27日(月)よりオープンいたしました。

両店とも閉鎖された空間を感じさせない、明るく広がりのある内装が特徴となっております。

これからも、患者さんやお見舞いの皆さんに愛されるような店舗を目指していきます。

なお、今後も財団事務室、医療機器販売所、院内郵便局と改修工事が続きます。ご利用される皆さまには何かとご不便をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。



明るくなった理髪店



広がりを感じるデザインで生まれ変わった花屋

第12回メディカルスタッフ研修＆発表会を開催

H24.08.27

平成24年8月27日(月)17:30～19:50に、第12回目メディカルスタッフ研修＆発表会を開催しました。

本研修会は、本院の理念『信頼と満足を目指す全人的医療』の実現に向け、様々な専門職(医療職・教育職・事務職等)からなるメディカルスタッフによる各種取り組み(患者サービス向上・病院経営への貢献・先進医療・各専門職による医療への貢献・等々)について報告いただき、課題の共有化を図ることを目的して、平成18年度より2回／年のペースで開催されています。

今回の発表は、以下の4題でした。

1. 患者支援センター(医療ソーシャルワーカー) 医療ソーシャルワーカーの働き
2. 歯科口腔外科学講座(歯科衛生士) 滋賀医科大学医学部附属病院における歯科衛生士の役割について
3. 看護部(5A病棟保育士) 小児病棟における保育士としての活動報告

4. 放射線部(診療放射線技師) マンモグラフィ施設画像認定の更新にあたって

今回の特徴は、メディカルスタッフのなかでも、非常に少人数で頑張っておられる医療の中では特殊な職種の方たちによる発表が多かったことです。大変興味深い内容が豊富な発表会でした。

今回の優秀賞は、放射線部が発表しました『マンモグラフィ施設画像認定の更新にあたって』でした。3度目のマンモグラフィ施設画像認定の評価を受けるに際し、撮影協力をいただいた266名のボランティアからのアンケート回答より、マンモグラフィ撮影が抱える問題点を被検者の視点から解析し、その結果を臨床に還元させようという取り組みに対する評価が特に高かった発表でした。

次回は、来年2月に開催予定です。



会場の様子



表彰式の様子

第3回小児科サマーキャンプを行いました

H24.08.30-09.01

今年も小児科サマーキャンプが開催されました。期間は8月30日(木)からの2泊3日、場所は例年同様、グリム冒険の森(滋賀県蒲生郡日野町)で行いました。

内容は、流しそうめん、バーベキュー、花火、木工作り、バームクーヘン作りと盛り沢山で、今年は子供達のリクエストで肝だめしも行いました。本学の医学生、看護学生を中心としたボランティアが一丸となり、難病を克服した子供達と素晴らしい時間を共有できました。また参加者の子供達も回を増す毎に各々の絆が深まっていると感じました。

来年は更に素敵なキャンプになると思いますので沢山のご参加をお待ちしております。



みんなでスイカを食べました



集合写真

ヨット部 故 嶋岡 秀典君の慰霊式を挙行

H24.09.09



馬場学長の挨拶



列席者による献花

平成4年9月11日に、ヨット部のクラブ活動中に不幸にも琵琶湖で遭難した、故 嶋岡 秀典君の慰霊式が9月9日(日)の11時からクリエイティブモチベーションセンターで行われました。

嶋岡君の御家族、馬場学長、顧問の内科学講座藤山教授、OB他関係者約40名が列席し、馬場学長や藤山教授、主将の医学科3年 九住 龍介君から、嶋岡君を偲び、追悼の言葉が述べられました。その後、全員で献花・黙祷を行い、最後に嶋岡君の御家族から「息子の事故を教訓として安全対策を心掛けてほしい」とお話しがあり、列席者一同、命と安全対策の大切さを改めて考える機会を持つことができました。

石山高校生徒による大学見学会を実施

H24.09.21



岡山准教授による模擬授業

去る9月21日(金)に県立石山高校の生徒36名が2名の教諭に引率され本学を訪問しました。

当日は、服部副学長から歓迎の挨拶があり、引き続き、同校の先輩である看護学科第2学年の小西 祥子さんから、自身の受験対策や学生生活について話してもらいました。

この後、臨床看護学講座(母性・助産)岡山准教授から「親になる人への支援」と題した模擬授業があり、自身の母子手帳を見ながらお母さんの健康状況を確認しました。

また、授業では「父親や母親になるということ」、「出産体験が女性にもたらすもの」、「親子関係について」などについて勉強し、これから自身が経験するであろう赤ちゃんの誕生について、熱心に受講していました。

この後、実験実習支援センターで電子顕微鏡の操作を体験し、大学の図書館を見学しました。昼食は生協の食堂で持参したお弁当を食べ、午後からの見学先の立命館大学びわこ・くさつキャンパスに歩いて向かいました。

男女共同参画推進のための講演会を開催

H24.09.24

平成24年9月24日(月)に「女性のワークライフ ～ライフイベントと仕事・研究等の両立～」というテーマで、同志社大学社会学部教授 藤本 昌代氏を迎え講演を開催しました。

国内外の男女の労働状況の統計データに基づき、仕事や研究を維持しながら育児・介護をしている専門職の労働状況及び専門職組織の分析などについての講演がありました。

今まで私たちがあたりまえであると思っていたこと、例えば「北欧が男女

共同参画のロールモデルである」や「育児のたいへんな時期は子どもが乳・幼児期である」などが、他のデータからみると「北欧の女性の職場復帰は職場が限定されている」や「思春期の子供を持つ40代の女性が一番多く社会的役割を担っている」などと覆されます。このように、一つの側面からの概念(あたりまえの概念)が、私たちの社会の規範を構築しており、男女共同参画とはこの構築をチャレンジしていくことだとお話をされました。



講演の様子

附属病院外来棟2階のウッドデッキ(憩いの広場)に モニュメントが展示されました

H24.09.25



ライトアップされたモニュメント

このたび、滋賀医科大学と成安造形大学との交流事業の一環として、病院の外来棟2階のウッドデッキ(憩いの広場)に、成安造形大学住環境デザインコースの学生さん達の制作によるモニュメントを展示いただきました。

作品のタイトルは「動」です。

モニュメントは、琵琶湖のヨシを素材に作られており、すだれのように編むという手法で構成されていますが、それをねじることにより曲面をつくり、ダイナミックな作品となっています。

展示は11月末までの予定で、夜間はライトアップもされます。

ぜひ一度ご覧ください。

膳所高校理数科1年生の1日講義・実習を実施

H24.09.26

9月26日(水)に、膳所高校の理数科1年生の生徒40名が、湊田校長先生他6人の先生方に引率され本学を訪問し、終日講義と実習に取り組みました。

当日は、服部副学長から歓迎の挨拶があり、続いて湊田校長先生から受講するにあたっての心構えについてお話がありました。

引き続き、社会医学講座(衛生学)准教授 埴田先生から「医師の使命と働きがい」と題して講義があり、生徒からは県内の医師の専門別の偏在や、医師の休日の実態などについて質問がありました。

続いて、生理学講座(細胞機能生理学)教授 松浦先生から、「心臓拍動の仕組みと自律神経(交感神経、副交感神経)による調節」の講義があり、心臓の自動性やその調節機構につい

て学び、午後の実習に備えました。

生協での昼食後、希望者34名の生徒が生理・薬理実習室でラット心臓摘出術を見学しました。

午後からは、松浦先生、林先生、豊田先生を始め生理学講座(細胞機能生理学)の先生方の指導で、「動物(ラット、モルモット)心臓を用いた心臓拍動の調節に関する実習」を行い、心臓の自動性や自律神経伝達物質による心拍数の変化を、心電図を記録しながら直に観察しました。初めて見る心臓の自動拍動に驚きと関心を示しながら、実習を行っていました。

丁度、医学科第4学年の傍島 宏貴君が自主研修として生理学講座(細胞機能生理学)で学習していたことから、積極的に生徒と交流しながら実習の補助をしました。



埴田准教授の講義



実習の様子

平成 24 年 10 月～12 月の行事予定

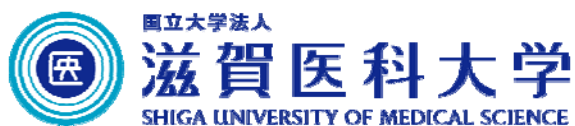
10月25日 解剖体慰霊式

10月27、28日 学園祭（若鮎祭）

10月28日 第8回滋賀県脳卒中市民公開講座「脳卒中を正しく理解する」

11月2、8、16日 第29回滋賀医科大学公開講座

大学概要



所在地：

〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：

1974年10月1日

活動内容：

教育・研究・診療

役員：

学長	馬場忠雄
理事（教育等）	服部隆則
理事（医療等）	柏木厚典
理事（経営等）	高尾孝信
理事（総務等）	谷川成美



担当

企画調整室

TEL:
077-548-2012

FAX:
077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学（平成 24 年 7 月～平成 24 年 9 月）**教育関係**

2012/9/25	週刊ダイヤモンド	「全国 560 大学 総合ランキング」
2012/9/24	中日	県勢 11 種目で頂点 びわ湖レガッタ最終日
2012/9/11	中日	2013 年国公立大学
2012/9/8	読売	2013 年度 国立大学入試概要
2012/9/8	zakzak	最新版”国公立大”難易度ランキング！女子受験者増の異変
2012/8/29	読売	中高年 健康に過ごそう 来月から草津市 骨や腎臓主題に講座
2012/8/15	Pharma Medica vol.30 No.8	インスリン治療の安全性について—がんの発生に有意差なし—
2012/7/20	京都	ヘルシー 県産大豆ケーキ
2012/7/13	医療介護 BC ニュース、キャリアプレス	医学教育改革に補助金、選定結果を公表
2012/7/11	中日 Web	県は子どもの自殺防ぎ取り組みを
2012/7/11	読売	女子の正規職員 66% 男子の 58%上回る
2012/7/10	読売しが県民情報	平成24年度 滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座
2012/7/5	読売	大学の實力 教育力向上の取り組み

研究関係

2012/9/27	産経	高機能 臓器癒着防止剤を開発
2012/9/26	京都	遠隔診断 がん発見
2012/9/25	京都新聞 WEB	遠隔診断でがん発見 滋賀県立成人病センターシステム開発
2012/9/21	中日	食塩取りすぎで「仮面高血圧症」
2012/9/15	日経	臓器の癒着防止シート
2012/9/12	朝日	手術の癒着防止材 貼り直しOK 滋賀医大とメーカー
2012/9/12	キャンパス News	食塩過激摂取は仮面高血圧の要因となることを証明
2012/9/11	毎日	国産初、癒着防止材を開発 腹腔鏡手術にも応用へ
2012/9/11	中日	臓器癒着防止材 初の国産 滋賀医大と川澄化学が開発
2012/9/11	京都	滋賀医大とメーカー、国内初開発 術後の癒着防止シート
2012/7/19	マイナビ	国がん研と理研、肺腺がんのかかり易さに関わる 2 個の新規遺伝子領域を発見
2012/7/16	THE WALL STREET JOURNAL	肺腺がんの遺伝子 2 個発見＝喫煙以外の解明期待—国立研など

病院関係

2012/9/18	中日	医師不足解消なるか 地域医療担う人材育成
2012/9/18	京都	医師確保 拠点生かし実績積もう
2012/9/10	中日	救急医療の功績評価
2012/9/4	朝日	勤務医確保へ支援 県・滋賀医大 センター開設
2012/9/4	日経	研修医の能力アップ 滋賀県、医大を連携し拠点
2012/9/2	滋賀報知新聞	地域医療を担う人材へ 東近江市で宿泊研修
2012/9/2	読売	病院の實力「子宮・卵巣がん」
2012/9/1	毎日	医師の偏在解消へ キャリアセンターを開設
2012/9/1	中日	県キャリアセンター開所 医師確保 養成に本腰
2012/9/1	読売	若手医師の流出防ぎ 滋賀医大に県センター
2012/9/1	京都	医師確保へ・研修・就労支援

2012/8/28	読売	子宮頸がんワクチン 接種し定期検診を
2012/8/12	京都	滋賀医科大 患者データ収集 脳卒中医療 体制整備へ
2012/7/27	zakzak	訪問診療の地域ネットワークを構築！
2012/7/23	共同通信	くらし 2012 増えてきた肥満手術
2012/7/23	福島	胃切除やバイパス 肥満手術に節約効果
2012/7/23	山形	肥満手術で費用節約も
2012/7/22	千葉	健やかゼミ 経済効果大きい肥満手術
2012/7/13	高知	一般化する減量手術
2012/7/12	山梨	経済効果高い肥満(減量)手術
2012/7/12	日本海	経済効果大きい肥満手術
2012/7/10	京都	肥満手術 経済効果大きく
2012/7/9	東京	肥満手術 経済効果 大
2012/7/8	神奈川	経済効果大きい肥満手術

社会連携

2012/9/28	産経	第29回滋賀医科大学講演会「昨今のがん治療について」
2012/9/25	しが県民情報	平成 24 年度 第 3 回肝臓病教室
2012/9/21	毎日	第 3 回 肝臓病教室
2012/9/20	京都	肝臓病教室
2012/9/4	読売	第 28 回滋賀医科大学公開講座受講生募集
2012/8/17	伊賀タウン情報 YOU	テーマは「認知症」18 日に市民公開講座 伊賀・上野市民病院
2012/8/12	朝日	潰瘍性大腸炎・クローン病医療講演会
2012/7/30	京都	施設機能連携 必要性掲げる 県検討委員が最終案
2012/7/27	京都	どうすれば 大津いじめ問題 家や学校で会話を
2012/7/16	京都	「赤ちゃん死」どうケア
2012/7/13	読売	血管の健康主題 講演と調理実習

その他

2012/9/29	産経	滋賀医大、教授を処分 パワハラ、カラ出張 停職 8 カ月に
2012/9/28	朝日	滋賀医科大教授停職 8 カ月処分 研究費不正受給
2012/9/28	読売	滋賀医大教授を懲戒
2012/8/15	文部科学省 web	平成 24 年度科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・キャリア開発事業」「女性研究者研究活動支援事業」の運営機関の決定
2012/7/17	zakzak	企業と職種別 平均年収を公開！こんなに違うフコロ事情
2012/7/3	京都	県職員 100 人「天下り」昨年度 人件費 3.5 億円支出